

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 1422

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島工業大学		科目開講 キャンパス	サテライトキャンパスひろしま			
2. 科目名	正式科目名	学外研修（グローバル化時代のものづくり技術者像）			クラス名		
	副題				配当年次	3年次	
					受入学年	3年次以上	
	旧科目名						
	学問分野	番号	42	名称	国際関係		
	サテライトで開講される科目の科目群		A群	○B群			
3. 担当教員名	長坂康史						
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期			
6. 開講期間 曜日・時間	2014年9月27日（土）～2015年1月24日（土） 土曜日 13:00～16:10 ※10月25日（土）14:40～17:50 ※1月24日（土）14:40～16:10						
個別開講日	1回目 9/27	2回目 9/27	3回目 10/11	4回目 10/11	5回目 10/25	6回目 10/25	
	7回目 11/8	8回目 11/8	9回目 11/22	10回目 11/22	11回目 12/13	12回目 12/13	
	13回目 1/10	14回目 1/10	15回目 1/24	16回目 /	試験日	/	
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ( ) ○2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 (総授業定員)	10人 (40人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考			

<p>10. 科目内容・授業計画</p>	<p>1. 科目内容</p> <p>本講義は、異文化コミュニケーション、海外ものづくり事情、海外文化事情、そして、海外現地研修の4部で構成される。また、講義は座学に偏らず、講師及び受講者を交えた討論や、グループワークなどの体験的な演習などを取り入れたアクティブラーニング手法によって知識を身に付ける。</p> <p>(1) 異文化コミュニケーション</p> <p>広島産業界が事業を展開している海外地域を意識し、中国を中心とした東アジアまたアセアン諸国などの文化的な事情を理解する。また、この他、欧米も対象に含め英語圏における一般的な海外事情も理解する。</p> <p>(2) 海外ものづくり事情</p> <p>工学系分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。</p> <p>(3) 海外文化事情</p> <p>文化の違いなどを、留学生を交えた討論や体験的な演習を行いながら理解する。たとえば、留学生から見た自国と日本の違いなどのテーマをもとに、それぞれの文化を理解するとともに、日本の文化についても再認識する。</p> <p>(4) 海外現地研修</p> <p>地元広島産業界の協力を得て、東アジアおよびアセアン諸国の現地事業所を中心に研修場所とし、単なる企業訪問ではなく、現場職員との積極的な意見交換、また、具体的な作業体験などを行う。</p> <p>2. 授業計画</p> <p>第01回 ガイダンス 講師：濱崎 利彦（広島工業大学）</p> <p>第02回 異文化コミュニケーション全般 講師：上水流 久彦（県立広島大学）</p> <p>第03回 英語圏における異文化コミュニケーション 講師：三熊 祥文（広島工業大学）</p> <p>第04回 中国語圏における異文化コミュニケーション 講師：桂 弘（広島工業大学）</p> <p>第05回 ものづくりにおける海外事業展開と技術移転 講師：高田 忠彦（広島大学）</p> <p>第06回 海外ものづくり事情（自動車分野） 講師：高橋 雅通（マツダ株式会社）</p> <p>第07回 海外ものづくり事情（マルチメディア機器開発分野） 講師：濱崎 利彦（広島工業大学）</p> <p>第08回 海外ものづくり事情（マルチメディア機器商品企画・戦略分野） 講師：杉木 雄三（クリプトメリア経営コンサルティング）</p> <p>第09回 海外ものづくり事情（経営分野） 講師：朴 唯新（県立広島大学）</p> <p>第10回 海外ものづくり事情（建設分野） 講師：向井 正紀（株式会社フジタ）</p> <p>第11回 海外ものづくり事情（応用科学分野） 講師：松尾 邦昭（広島国際学院大学）</p> <p>第12回 海外ものづくり事情（コンピュータシステム分野） 講師：鈴木 誠（株式会社インタフェース）</p> <p>第13回 ものづくりにおける海外事業展開 講師：深田 進（中小企業基盤整備機構）</p> <p>第14回 海外文化事情 講師：長坂 康史（広島工業大学）</p> <p>第15回 まとめ 講師：長坂 康史（広島工業大学）</p>
----------------------	---

11. 試験・評価方法	異文化コミュニケーション、海外ものづくり事情、海外文化事情の3テーマにわけ、それぞれのテーマで知識・理解、発表・表現、姿勢・意欲を評価する。		
12. 別途負担費用	全講義受講終了後、海外現地研修として、中国あるいは東南アジアで事業展開をしている地元広島企業を訪問し、意見交換および作業体験などを行うプログラム（約1週間）への参加を希望することができる。なお、渡航費用の半額と現地での生活費については自己負担となる。		
13. その他特記事項	講義はサテライトキャンパス広島で実施する。 講師等の都合により、講義内容や担当者、授業順が変更となる場合あり。		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	○否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	○可	否